

=連絡先=

〒0561-5215 日本共産党尾張旭市委員会
 旭市 塚本 庄司 宗雄 0561-5894 FAX 514011
 旭市 川村 つよし みゆき 0521-7721-9298
 旭市 0521-7721-9298

本年度の議会人事決まる

尾張旭市議会では議長をはじめ議会の役職について、99年以降、話し合いで決めてきました。経過を調べてみると、94年の議長選挙がかなり激しいもの(14対12)であったためにできた流れのようです。今年も結果的には話し合いで決まりましたが、議長を決めるだけで各派代表者会議が3回空転するなど、ここ数年には見られない難しい状況でした。そんな中、決まった主な役員人事は左の通りです。

なお、5月臨時議会後、最大会派の平成クラブは50音順の前半と後半で分裂しました。

議長

佐藤 信幸 (3期…市ク)

副議長

伊藤恵理子 (3期…公明)

監査委員

行本 聖一 (4期…平ク)

議会運営委員長

森下 政己 (2期…創ク)

総務委員長

伊藤 憲男 (2期…平ク)

建設経済委員長

坂江 章演 (2期…創ク)

民生文教委員長

川村 剛 (2期…共産)

党議員団の所属委員会

塚本 美幸議員

建設経済委員会

予算特別委員会

市議会だより編集委員会

旭長久手衛生組合議会

川村 剛 議員

議会運営委員会

(オプザーバー参加)

民生文教委員会

決算特別委員会

委員会の傍聴にも

お越しく下さい

5月臨時議会

賛否の分かれた議案などに対する各議員の態度

議案などの名称	議員名	日本共産党		平成クラブ							市民クラブ				創新クラブ			公明党								
		川村 剛	塚本 美幸	相羽 晴光	伊藤 憲男	岩橋 盛文	※ 斉場 洋治	服部 勝	原 淳磨	森 和美	行本 聖一	若杉 たかし	大島 もえ	佐藤 信幸	早川 八郎	水野 利彦	水野 義則	渡辺 欣聖	坂江 章演	谷口 マスラオ	森下 政己	山下 幹雄	伊藤 恵理子	丹羽 栄子	良知 静夫	
第35号議案 尾張旭市市税条例の一部改正		×	×	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ×：反対

※議長は採決に加わりません。

5月臨時議会に提案されたのは、この他に3件ありますが、賛否の分かれたのは上表の通り、市税条例改正案です。

この改正案の主な問題は、市民税の高令者の非課税措置が廃止されることにあります。

反対討論に立った川村議員は、討論の中で「総務省の家計調査では、夫婦二人で230万円の年金暮らしの場合、1年間の収支を月平均で見ると毎月3万1503円、年間約38万円の赤字になるという結果が出てい」ることを示し、高齢者が優遇されているというよりも、憲法25条や生計費非課税の原則から考えればむしろ、現役世代の非課税措置を拡大することが求められるのではないか指摘しました。

一方、賛成討論では(伊藤憲男議員)「同じ所得の現役世

代と比べて、年齢だけ理由に税制上の優遇が図られてきた本制度を、税負担の公平を確保するために改正することは適切」と発言し、論点のかみ合った討論となりました。

条例改正による影響は、対象者数120名、経過措置の終了する08年度の影響額は総額で300万円と試算されていますが、市民税非課税となった場合、介護保険料が最大で2.5倍、国民健康保険の高額療養費限度額が約2倍になると(本人状況にもよる)非課税措置廃止による2次的な負担増も心配されます。

国会では反対した社民党も法律が通れば地方は賛成するのだそうです(大島議員に確認)。そもそも言ってられないことでもあるように思うのですが…。